

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙3

公表：令和 4年 3月 1日

事業所名

児童発達支援センターぽぷら

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	21	0	・遊戯室や廊下などを上手く利用して広いスペースでトラブル等ないようになっている。 ・分散化している為、数人(5名～6名)での活動をしている。	・あそびのコーナーを工夫しながら、子どもたちが十分遊べるスペースを確保していきます。 ・今後も子どもたちが落ち着ける空間が必要であると感じています。
	② 職員の配置数は適切である	21	0	子どもの出席状況や活動内容に合わせて、クラス外の職員が補助に入るようにしている。	今後も安全面に配慮しながら、状況に合わせて補助が入るようにしていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	20	1	・視覚支援や動線を考えて伝えるように心掛けている。 ・室内だけではなく、廊下等工夫して使っている。	環境の見直しをその都度行っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	21	0	降園後、掃除を行い、手の触れる場所を中心に消毒を徹底している。	運番の担当が最後に消毒をするようにしています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	21	0	全体研修、各クラス会議が月1回行われ、振り返りができている。	職員会議では、その月のねらいを決め、職員全員で話し合い意識統一を測っています。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	21	0	年1回、保護者・職員に対し、評価を実施。保護者の意向、職員の意向をまとめて改善している。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20	1		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	21		福祉サービス第三者評価を受審していません。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	21	0	・月1回、職員研修をおこない、資質の向上につなげている。 ・内容も担当制になっており、それぞれが勉強する機会が設けられている。	引き続き実施していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	21	0	・ 月1回、職員研修をおこない、資質の向上につなげている。 ・ 内容も担当制になっており、それぞれが勉強する機会が設けられている。	引き続き実施していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	21	0	・ 写真やカードの活用 ・ マカトンサイン ・ 各クラスに1ヶ月の手作りカレンダーを掲示している。	今後も写真カードやマカトンサインを活用していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	21	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21	0		計画に沿うよう心掛けています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	21	0	・ クラス会議にてプログラムの作成にあたっている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	21	0	・ 感染症対策で活動の制限がかかってしまった為、できるだけクラスごとで楽しめるプログラムを提供した。 ・ 月ごとにテーマを決め、イベントを行っている。	・ 今後も状況に合わせた新しい取り組みを行っていきます。 ・ 最近では、クラス内でも分散化され、ゆとりをもって活動できています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	21	0		個別活動や小集団活動を取り組んでいます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	21	0	・ 毎朝クラスリーダーより、連絡事項があり配置図等、詳細を見ながら確認把握している。 ・ 初めての活動については数日前からクラス職員間で話し合いを行っている。	

⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	21	0	終了後や翌日の朝に確認し合っている。	・ 支援終了後にクラスで振り返りかえる時間を設けていきます。 ・ 個別、集団とも常に見直され、変容に応じ、柔軟な対応ができる体制にあります。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	21	0	日々の記録を確認しながら、気になる行動が見られる時にはその都度検証している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	21	0	支援計画の見直しを行い、変更点は保護者に知らせている。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	21	0	児発管が参加している。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	21	0	各関係機関を連携し、情報共有を図っている。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	21	0	病院に出向き、ケアを行う上での指導を受けている。	医療的ケアの必要な子どもを受け入れ、医療と連携を図っていきます。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	21	0	・ 連携体制は難しく見学程度である。 ・ 緊急時にはすぐに搬送できるように体制を作っている。	保護者と同席のもと、ドクターのアドバイスを頂きながら日々の支援に生かしていきます。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	0	・ 移行時には必ず園に行き、子どもの支援内容等を伝えている。 ・ 移行前に交流を行っている。	移行後は、保育所等訪問で支援しています。
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	0	引継ぎ書の作成を行っている。	学校の先生が園での様子を見学してくれます。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20	1		感染症対策のため、参加できる研修会が減ってしまいましたが電話やリモート等で話し合う機会を作っています。
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	14		個別での交流は実施したが、感染症対策の為、集団での交流はできませんでした。
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	19	2		発達支援ネットワーク会議に参加しています。

③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	21	0	・ お便り帳を主として共有し合い、気になったことがあれば声をかけ面談を行った。 ・ 連絡帳の活用。送迎の際の会話。 ・ 特に体調の変化には気を配り、保護者との連絡を密にしている。	保護者が話やすい雰囲気作りに心掛けています。
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	17	4	登降園時や連絡帳などから保護者の求めている支援を複数で汲み取る。	面談を重ね、改善を図り連携した支援を心掛けています。
③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	21	0	保護者会や入園説明会にて行っている。	
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	21	0	個別支援計画の作成した際保護者に内容を確認してもらい同意を得ている。	
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	21	0	・ 普段と違う様子が保護者から見受けられた時は声をかけ面談を行った。 ・ 連絡帳にて、保護者の不安が見られた際は、早めに面談を実施した。 ・ 保護者からの相談ごとは、すみやかに適切に支援する。	必要に応じて、クラスごと面談や相談を実施していきます。
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17	4		今年は、感染対策の対応により、保護者の活動が制限されてしまいました。
③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	21	0	保護者から相談があった場合、早めに話を聞く機会を作っている。	
③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	21	0	年3回、センターだよりを発行している。	
③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意している	20	1	・ 十分に注意して行っている。 ・ お便り帳などは二重チェックをし声かけをしている。	保護者からの相談を受けた時は、場所の配慮をしています。
③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	21	0		

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14	7		コロナ禍のため今年度は行っていません。
非常時等の対応	④⑪	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	21	0		新型コロナウイルス感染対策マニュアルを作成し、職員・保護者にも周知しました。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	21	0	月1回訓練を実施している。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	21	0		定期的に子どもの健康状態を保護者と確認していきます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	21	0	アレルギーを持っている子どもには個別に配膳し、全体と混ざらないようにしている。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	21	0	ヒヤリハットが出た際は、すぐに管理者・児発管に報告し、すみやかに全体に周知を図っている。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	21	0	研修会を実施している。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	21	0	日々の記録、個別支援計画書に記載している。	保護者に面談等で伝えていながら、同意書にサインをいただいています。

○この「児童発達支援自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 4年 3月 1日

事業所名 児童発達支援センター ぽぷら

保護者等数（児童数）35 回収数 35 割合100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	0	0	3		・ クラスだけではなく廊下等のスペースも活用していきます。 ・ 遊戯室でうんどうあそびを行います。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	1	0	3	・ 先生が4人いるが、支援を多く必要としている子に行ってしまう	分散保育を行い、個別で関わる時間を作っています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	2	0	3	・ 視覚優位な子に対し写真などを使用しており適切	日中の活動は、写真カードにて伝えたり、個々にわかりやすい方法で伝えています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	0	0	2	・ そこまでじっくり見ていないのでわからない	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35	0	0	0		丁寧なアセスメントを行った上で、計画を作成していきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33	0	0	2		契約時に説明していきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	1	0	2		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	0	0	3		子どもの日々の表れをみて活動を検討していきます。

⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	13	11	・コロナ禍のため ・ぽぷら以外の子どもとの交流はないと思う	・感染症の終息状況により、交流保育の再開を考えていきます。 ・必要に応じて個別交流を行っていきます。
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	0	6	2		
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	2	0	2		コロナの為、電話での聞き取りが中心であったが必要に応じて個別面談を行っていきます。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	20	4	2	9		
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	1	0	1		おたより帳や送迎時等で子ども達の様子を知らせていきます。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	1	0	1		ご家族の心配事や相談事には、随時受け付け対応していきます。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	5	3	3	・コロナ禍のため	感染症の終息状況により、活動の再開を考えていきます。
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	35	0	0	0		
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	0	0	2	・コロナ禍で親が教室内に立入ることがなかったり、参観日が少ないという状況なので、普段の活動の様子の写真がもっと見たい。 ・子どもの表情を見たい。	時間帯を工夫しながら少人数での参観できる機会を増やしていきます。

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	33	0	0	2	おたよりが楽しみ	・できるだけ子どもたちの楽しい活動の様子を、クラスだよりにて発信していきます。 ・イベントがあった時は、クラスごと入り口に写真を貼り、日々の様子を伝えていきます。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	0	0	3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	29	1	0	5		感染症が出た際は、メールやおたよりにて伝えていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	1	0	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	33	1	0	1	毎日楽しく通園している	子ども達がぼぷらで楽しく過ごせるよう、日々の保育の充実を図っていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	34	0	0	1	・先生に感謝している ・親の気持ちにもしっかり寄り添ってくれて満足している	家族の状況やニーズを把握しながら、ぼぷらとしてできることを検討していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。